

健康一口メモ

中部ろうさい病院 眼科副部長 丹羽 英康

血液検査で糖の値(血糖値)が高く、内科の先生から眼科受診を勧められました。目の症状は何もありませんが、眼科を受診した方が良いでしょうか。

糖尿病によって生じる眼科合併症としては網膜症、白内障、眼筋麻痺、屈折変化、角膜症、視神経症などがあります。網膜症以外の疾患は自覚症状を伴って悪化進行しますが、網膜症に関しては自覚症状が出現する前に進行し、視力障害などの自覚症状を感じたときには、すでに、網膜症がかなり進行した状態になっていることがあります。

糖尿病網膜症は糖尿病により網膜の血管が障害を受け、血液の流れが悪くなり、網膜に酸素や栄養を供給することができなくなる疾患です。初めは点状からしみ状の網膜出血を認める程度で進行していきませんが、血液の流れが悪くなった網膜を拡大すると、血液の流れを良くしようとして新しく血管(新生血管)が発生してきます。この新生血管が破れて出血(硝子体出血)が起こったり、新生血管が絡み合って生じた増殖膜が網膜を引っ張り、網膜剥離が起こったりすると非常に重篤な視力障害が生じます。こうした硝子体出血、網膜剥離が起こるまで視機能低下の自覚がないこともしばしばあります。新生血管の発生予防、退縮には網膜レーザー光凝固術が有効です。視力を回復することはできませんが、網膜症の進行を抑え、視力を維持するには非常に有効です。硝子体出血、網膜剥離により視力障害が生じている症例では観血的手術(硝子体手術)が必要になります。

近年、網膜症に対する治療は進歩してきたものの、高い視力を維持するためには自覚症状が出る前からの早期治療が必要です。よって糖尿病と診断されたら、同時に眼科を受診し、眼底検査を定期的に受けられることをお勧めします。

(読売新聞「健康相談」平成18年6月28日より転載)

編集後記

スタンダードプリコーション(標準予防策)で、知ってますか?
この頃、ろうさい病院で流行っている言葉です。一つ仕事が終わったら、手をあらいましょう。手洗いの方法はこの様にしましょう、マスク、ガウンも必要だったら着けましょう。その回りには、ゴミ箱はありますか? 部屋をきれいにしましょう。等々・・・

なにやら、幼稚園の幼児に話をしているようです。どうやら『外から家に帰ったら手洗い、うがいをしましょう、身の回りは清潔にしましょう』という事らしいです。病気にならないための基本は、そんな事なんですね。食事、睡眠、そして適度の運動を忘れずに!!

(M. M.)